

「からまつ」のようにきびしい自然に耐え、どっしりと大地に根をおろし、すくすくと育つ西春別小学校の子ども



別海町立西春別小学校 学校だより

からまつ No. 5

令和4年7月22日発行 校長 太田 等

学校の教育目標

知 よく考え表現する子

徳 心豊かで思いやりのある子

体 進んでやりぬくたくましい子

笑顔の夏休みにしましょう！

太田 等

本日をもって、第1学期が無事に終了いたしました。保護者地域の皆様方には、本校教育への様々なご理解とご協力をいただきましたことに、心より御礼申し上げます。

今月1日には、1泊2日の日程で網走方面へ修学旅行に行っていた5・6年生がたくさんの思い出と学びをもって元気に帰ってきました。15日には、延期していた全校遠足を実施し、子ども達はたくさんの種類のサケ等を見学するなど、よい体験をすることができました。

終業式では、この1学期の子供たちの頑張りや活躍を讃えるとともに、「計画をしっかり立てて行動。日記などで振り返る。おはよう、こんにちはをしっかり行って笑顔の夏休みにしてください。」というお話しをしました。

過日、第2回目の参観日を開催。ご多用な時期にも関わらず、多くの保護者の方にご来校いただき、誠にありがとうございました。

全体懇談会では、目指す子ども像の推進状況等について、4月実施の標準学力調査結果なども交え、お話いたしました。それにより、本校の目指す子ども像「自分の考えをもち、豊かに伝えられる子ども」を設定した理由や西春別スタンダード（西スタ）が、子ども像を達成させるために必然的な取組であることをご理解いただけたのではないかと考えております。

「西スタ」は、一言でいうと「計画（見通し）と具体的な準備」です。

例えでいうと、遠足に行く時の下見です。行動を起こす時は、目的、目標を無事に安全に達成するためにタイムスケジュール等を立てます。「計画」は、人が生きて行く上で必要不可欠なものであることは言うまでもありません。

「自分の考えを人に伝える力を形成する」には、「子どもの今の姿を把握」し、「何を」「どういう構成で」「どのように表現させるか」という計画（授業デザイン）を立てることから始まります。その上で実際に行い、子どもがその学習で何を学び、何ができるようになり、何ができなかったのかを「振り返らせる」ことが次の学習への意欲や見通しにつながるとともに、その継続が地道にして確実な力となります。

13日には、根室教育局指導主事を招いての校内授業研を開催。中学年の西スタの実践を参観されました。4年生においては、タイムスケジュールを基に子ども達が主体的に課題解決に向かい、振り返りレポートを教師の指示無く自ら書き始め、時間が来ると子ども達で発表し、お互いの良い面を伝え合う等の姿がありました。

言語能力は、短期間で急激に向上するものではありません。指導助言いただいた「一貫、徹底、継続」を大切な点とし、子どもの学びの向上的変容の姿を職員で共有していきたいと思っております。

明日から夏休みがスタートします。第6波を超えるといわれる第7波が急拡大しています。本校職員にも周知しておりますが、ご家庭におかれましても熱中症対策に加え、「手洗い徹底」「マスク着用」「手指消毒」「三密回避」「十分な換気」などの基本的な防止策とともに、旅行等から帰省された時等、不安がある場合は検査等を受けるなど、感染対策を徹底され、健康で充実した夏休みを過ごしていただければと思います。

そして、8月18日には、子ども達が笑顔で元気に登校してくることを職員一同、心より願っております。